

2012年8月9日

各位

ガイアホールディングス株式会社
(コード番号:3727 東証マザーズ)

ガイアホールディングス:

2012年12月期第2四半期連結業績を発表

ガイアホールディングス株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役:郡山龍、以下「ガイアホールディングス」)は本日、2012年12月期第2四半期累計期間(2012年1月~6月)の連結業績を発表し、売上高が3,858百万円、経常損益と当期純損益はそれぞれ-632百万円、-701百万円の損失となりました。

個別業績につきましては、中核事業であるソフトウェア基盤技術事業で、国内市場において急速な移行が進むスマートフォンに追随した売上が堅調に推移しました。一方、フィーチャーフォン向け製品の売上は、その減少する出荷台数に比例する形で減少となりました。海外市場においては、スマートフォンの普及の加速化により、フィーチャーフォン向け製品の売上は減少しております。

また、ソフトウェア基盤技術事業では、主力事業会社である株式会社アプリックスがインテリジェントなM2M向け新製品の概要を発表し、その後急増する引き合いに対応するため、今春開催されたIT系大型展示会で当社グループが開発したM2M製品を初披露いたしました。当社のM2M製品は、家電製品、健康器具、玩具などの身の回りにある全ての機器をスマホやネットにつなぐことを可能にするテクノロジーで、その優れた技術力と先進性が各業界の多数のメーカーやサービスプロバイダーから高い関心が寄せられるとともに、多くのメディアからも注目されております。

コンテンツ・サービス等事業においては、当社グループ会社である株式会社ジー・モードと株式会社アニメインターナショナルカンパニーとの共同によるメディアミックス作品として「片翼のクロノスギア」が、まずソーシャルゲームとして配信開始されました。本作品は、時を空けずWEBコミック「COMICメテオ」で連載が開始されるとともに、今後、アニメーションの販売も予定しております。

下期は、通期の業績目標の達成に向けて、ゲーム、アニメ、コミック、マーチャンダイジングなどを連携させた総合エンターテインメント事業の収益を伸ばしていくとともに、M2M向け製品を中心としたソフトウェア基盤技術事業の収益増強に向けて精進してまいります。

以上

■ ガイアホールディングス株式会社について

ガイアホールディングスは、全世界の地域毎の特性を捉えた多様なグローバルビジネスを展開するため、グループ一体となった経営体制で企業価値の向上を図ることを目的として誕生しました。グループ企業には、株式会社アプリックス、株式会社ジー・モード、株式会社アニメインターナショナルカンパニー、iaSolution Inc.などがあり、各社が提供するゲームやアニメーション等のコンテンツ・サービスと、それらのコンテンツ・サービスを快適にご利用いただくための技術、品質、先進的基盤を提供すること、それがガイアグループの目指すものです。

コーポレートサイト:<http://www.gaia-hd.com/>

- 本件に関するお問い合わせ先
ガイアホールディングス株式会社 IR 担当
Tel:03-5286-8436

※ 上記に記載した予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は状況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

※ 記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。